

University of Hradec Králové (UHK)

フラデツ・クラロヴェ大学

2025 年度 留学報告書

森下夢子

高知工科大学 経済・マネジメント学群 4年



1. はじめに

1.1 留学を決意した理由

私が留学を決めた一番の理由は、後悔しなくなかったからです。私は小学校から大学生までずっとバレーボールが中心の生活でした。そのためほとんどの時間はバレーボールに注がれていたのですが、何かバレー以外の大きな挑戦をすることを諦める癖がついていました。しかし、3年生の夏ごろにこの大学生活がずっと憧れていた留学という挑戦ができる最後のチャンスなのではないかと思い、半ば勢いに任せて留学を志願しました。それ以外にも、自分の知らない環境に身を置いて多様な人たちの考え方や文化に触れてみたいという願望がありました。留学の申請の際には、バレーボール部の一員として監督から苦言を呈

されたりもしましたが、それでもずっと挑戦したかった留学を諦めたくないという気持ちの方が強かったです。

1.2 留学先と派遣期間

私は、2025年9月から2026年1月までの約半年間、チェコ共和国フラデツ・クラロヴェ大学（以降、UHK）に科目履修留学しました。UHKには学群が4つあり、そのうちの Faculty of Information and Management に所属していました。

1.3 派遣までの準備

まず留学の前にパスポートやビザ申請などの準備をする必要があります。パスポートはビザ申請以外にもチェコの保険会社の加入でも必要になるので、もし持っていない場合は最初を取得した方が良いでしょう。次にビザ申請ですが、先輩方も仰っているように時間がかかります。ビザを申請する際に、無犯罪履歴証明書やアポステイーユなどを取得する必要があります。さらに、申請できても交付までに約2か月はかかるので派遣が決まったら計画的に準備を進めることを強くお勧めします。

2. 学校について

UHKは学群ごとに建物が分かれており、私はJ棟で主に授業を受けていました。J棟にはリラックススペースがあり、ソファやビーズクッションが設置されているためゆっくりランチをとったり、勉強もできます。

授業に関しては、私はエラスムスの奨学金を受けることができたので、条件として最低25 Creditを取得する必要がありました。そのため言語科目1つ、専門科目6つの計7科目、26 Creditを取得しました。以下で授業内容について簡単に説明します。

UHKの留学を考えている方の参考になれば幸いです。

2.1 International Trade

この授業では国際貿易における基礎的な理論とリスクヘッジなどについて学びます。KUTで国際貿易・国際金融(E)の授業を受講していたので基礎理論についてはそこまで難しくはなかったです。しかし為替変動やリスクヘッジを計算する問題は非常に難易度が高かったです。しかし先生が丁寧に教えてくれるのでなんとか単位を取得することができました。私自身はひたすら覚える授業よりも、計算をしながらの方が理解しやすいので、とても有意義な授業でした。

2.2 Basic of Finance

この授業は主にヨーロッパの通貨市場と自国の通貨市場についてディスカッションやプレゼンテーションを行う授業でした。ほぼ毎週プレゼンテーションがあるので、少し大変でした。しかし通貨市場の変動や、銀行組織について日本とヨーロッパを比較しながら学びを深めることができ、近年の円安などの為替市場について色々な視点から考えを深めることができました。

2.3 Marketing

この授業は先生がマーケティングにおける戦略立案などの流れを実際の企業や製品を通して学ぶ授業でした。基本的には先生の講義を聞くことが大半ですが、時々学生にも質問をしたりしながら対話的に行われることもありました。STP や SWOT 分析、4 P、4 C などフレームワークの知識はもともとありましたが、実際にそれらがどのようなタイミングで何のために活用されるのかを実践的に学ぶことができました。

2.4 Logistics

この授業は物流の役割や流れ、組織構造について学びます。物流といっても、既製品を消費者に届けるだけでなく、生産ラインにおける物流の役割や仕組みについても学びます。特にトヨタの生産ラインや、改善、かんぱん方式など日本の物流システムについて頻繁に取り上げられていました。

2.5 Project Management

この授業では、プロジェクトを円滑に遂行するためにどのような事を考慮すべきなのかを実践的に学ぶ授業でした。プロジェクトを統括するマネージャーとして、何が必要なのか、プロジェクト遂行における計画の立案などを学ぶことができます。この授業は、作業時間や作業人数の計算を行うことがほとんどだったので、難易度も易しく理解しやすかったです。

2.6 Management I

この授業は、チームマネージャーとしてどのように組織をマネジメントしていくかを素養的な側面から考察していきました。基本は教授との対話形式で進められ、内容に応じてグループディスカッションを行ったりもしました。この授業は試験がなく、日々の課題提出と授業への参加態度で評価されるのでメモを取るよりも自分で思考し、積極的にアプローチすることをお勧めします。

2.7 Czech Language for Foreigners

この授業はチェコ語を実践的に学ぶ授業です。内容自体はそこまで難しくはないですが、会話の練習を通じて学びます。チェコ語は名詞や形容詞の形が男性に使うのか、女性に使うのかなどで多様に変化するので日頃から復習することをお勧めします。授業の雰囲気はとても明るく楽しかったので1週間の授業の中でも1番楽しみな授業でした。



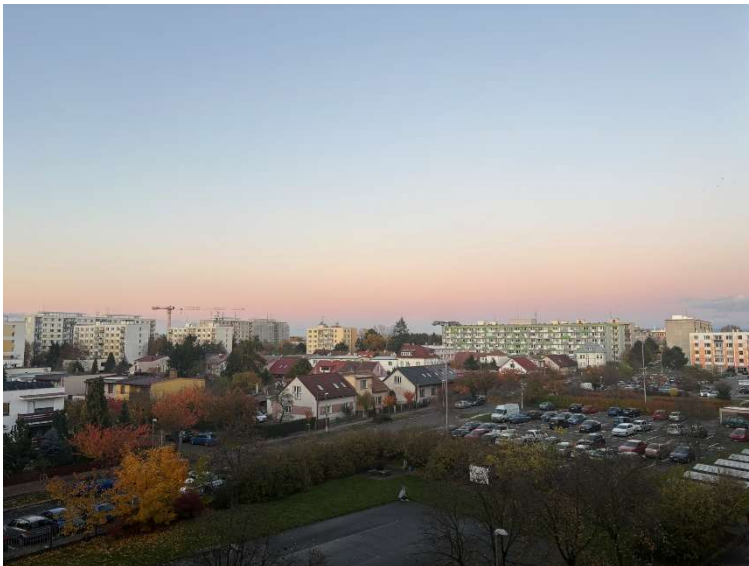
↑チェコ語クラス最後の授業の日

3. 生活について

3.1 寮生活

寮の部屋は3人部屋が2つあり、合計6人でキッチンやトイレ、シャワーなどを共有します。夕方5時から9時あたりにキッチンやシャワーの使用が集中するので、時折シャワー50分待ちが発生していました。

私の部屋は台湾人が4人と韓国人1人という全員アジア出身だったので特段の文化の違いは感じませんでした。もちろん、たまに不満もあったのでコミュニケーションをとってお互いの及第点を探したりしました。ただ、全員優しい子ばかりだったのでコミュニケーションも取りやすく、比較的快適に過ごせたと思います。



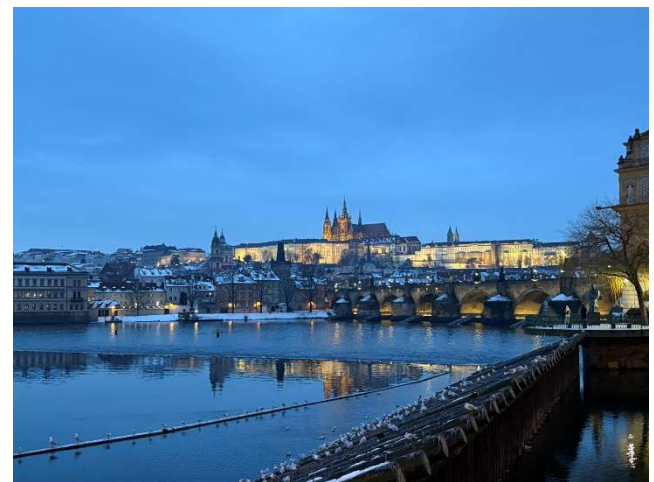
↑寮の外の景色、近くの公園



3.2 旅行

EU 圏内の移動はとても容易にできるのでお金と時間に余裕があれば色々な国に行くことをお勧めします。またバスや電車で移動する場合、料金も非常に安くさらに学割も適用できます。私はクリスマスシーズンの9日間を使ってドイツやオーストリア、ハンガリー、ポーランドをまとめて回りました。チェコ周辺の国は、夜中に出発かない限り一人旅もしやすいと感じました。

お金にあまり余裕がなくても、チェコには首都のプラハだけではなく色々な都市が見ごたえがあり費用を抑えても十分に満足した旅行ができると思います。



3.3 アクティビティ

私は友人に誘われて UHK の女子バレーボール部に入部しました。週に 1 回の練習で 2 回の大会に出場しました。日本のバレーとはまた違っており、言葉で形容することが難しいですが、チームメイトもコーチも優しく歓迎してくれたので気負いすぎることなくバレーボールを楽しむことができました。

エラスムスがボランティアで提供している ESN ではパーティやハイキング、レーザーシューティングなどの活動に参加できます。交流の幅も広がるので、何かコミュニティに参加したい場合、ESN のアクティビティに参加してもいいと思います。



↑ UHK の女子バレーボール部

4. 最後に

今回の留学を通して得た知識や経験、また人との繋がりは、今後の人生において大きな財産となると確信しています。異なる文化や価値観の中で学び、挑戦した日々は私の視野を広げ、主体的に行動する姿勢の重要性を改めて実感する機会となりました。

この貴重な機会を支えてくださった全ての方々への感謝の気持ちを胸に、今回の経験を今後の成長へとつなげていきます。